

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

それでは、9月の月例記者会見の資料について説明いたします。

【市長】

資料No.1「裾野市内循環線バスの再編」についてです。

この「裾野市内循環線」は、令和 3 年度末で運行終了となった市の自主運行バス「すそのーる」廃止などの影響によるバス交通空白地帯の大幅な増加を防ぎ、バス路線によるネットワークを維持するため、令和 4 年 4 月から運行を開始しました。

また、「裾野市地域公共交通計画」内にもあるとおり、バス路線については再構築・利便性の向上を行い、持続可能な公共交通を目指しています。

裾野市内循環線についても、運行開始後の利用状況や利用者の意見を踏まえ、持続可能な路線となるよう、市内協力企業と連携しデータの利活用や利用者の意見等を聴取し、利用実態の把握、課題整理や再編案検討に取り組んできました。

市民目線、利用者目線で取り組むため、令和 5 年 6 月の 1 か月間市内循環線の全便に乗り込み、利用者に直接調査に協力してもらい、乗車中にヒアリングを行いました。

その後、8 月、12 月、今年の 5 月の 3 回、利用者に集まってもらい対話集会で直接意見を聞きながら、再編ルートを検討してきました。

例えば、現在の朝の便だと病院の受付に間に合わないという意見が多く、朝、夕の運行を追加して、通院などにも利用しやすくします。

他には、行のバスを利用すると、帰りに利用するバスがないなどの意見もあり、往復運行にすることで、行き帰りのバス利用ができるようにします。

ルート、時刻表の詳細については、「広報すその 9 月号」または裾野市の公式ウェブサイトをご確認ください。

市内を運行する路線バスは、車社会の影響を受け、年々利用者が減少し、これに伴い、運行便数も大幅に減少しています。

多くの方にご利用いただくことによって、将来にわたり利便性の良い公共交通を残すことができます。

毎日は難しいと思いますが、たまには、バスに乗っていただけたらと思います。

【市長】

資料No.2「敬老事業に伴う百歳長寿者への市長訪問について」です。

敬老事業一環として、老人週間中である 9 月 18 日(水)に 100 歳長寿者への訪問をします。

対象は、今年度に百歳を迎える高齢者 9 名のうち、2 名を予定しています。

訪問させていただき、祝意をお伝えします。

また、新たに 77 歳・88 歳になられた方々には、資料のとおり、記念品をお送りさせていただきました。取材を希望されるか報道機関の方は、総合福祉課へご連絡ください。

【市長】

次に、資料No.3「認知症フェスタ」についてです。

9月28日(土曜日)に「認知症フェスタ」を裾野市生涯学習センターで行います。

詳細につきましては、介護保険課 葛城主任保健師から説明します。

【介護保険課 葛城主任保健師】

「認知症フェスタ」について説明します。

9月は認知症月間です。認知症は誰もがなり得る身近なものです。

もっと認知症を知り、過度な不安や恐れが軽減されれば、私たちは人生をより前向きにとらえることができます。

認知症に対するイメージを明るくし、そして思いやりの輪が地域全体に広がることを期待し、「認知症フェスタ」を開催します。

このイベントは市として初めての試みです。

イベントは前半・後半の二部構成で、前半は講演会、後半は体験・相談・展示コーナーを開催します。

講演会では、認知症介護体験者によるパネルディスカッション風座談会と称し、認知症介護のコツや、気づき、悩みなどをお話してもらいます。演題は「みんなどうしてる？聞かせて介護のホンネ」です。

あわせて、認知症を取り巻く課題と地域づくりの重要性、裾野市のサポート体制についてもお伝えします。

後半は体験・相談・展示コーナーです。体験コーナーでは、介護食とシニア向け宅配弁当の試食のほか、認知症にちなんだスタンプラリーや高齢者疑似体験、クラフト制作などの体験ができます。

相談コーナーでは、認知症認定看護師と地域包括支援センター職員がそれぞれ相談に応じます。他にも、徘徊高齢者見守りネットワークの申請の受付も可能です。

展示コーナーでは、認知症の方にやさしいお店チームオレンジすそのや市内介護事業所の紹介などを行います。

講演会は、午後1時30分から午後3時。体験・相談・展示コーナーは午後3時から午後4時15分までで、いずれも予約は不要で、どなたでも無料でご参加いただけます。

このイベントは、地域の皆さんと作り上げることを目指しており、当日は多くのボランティアの方にご協力いただきます。来場者全員で作り上げるモザイクアートも用意しています。

手作り感あふれるイベントではありますが、ぜひ、多くのみなさんにお越しいただき、このまちには応援してくれる人がたくさんいることを感じていただければと思います。

周知につきましてよろしくお願いします。

【市長】

次に、資料No.4「国際交流フェア IN すその」についてです。

10月6日(日曜日)10時から、裾野市民文化センターにて裾野市海外友好協会主催の「国際交流フェア in すその」が開催されます。

日本を含め13か国が参加し、食文化や伝統工芸、音楽などを体験することができます。

このうち、6か国は出身国から来日し、本場の魅力を発信していただく予定です。日本代表となる裾野市としては、振袖の着付け体験や阿波おどりの披露、さつま揚げや串焼きを販売する予定です。

来場者の方との交流をテーマとしており、コーナーを通じて簡単な英語での会話もお楽しみいただけます。お子様でも、英会話に自信のない方でも問題なくやさしい英会話となっていますので、気軽に交流することができます。

今回、裾野市の姉妹都市であるフランクストン市のデリンヤ小学校の児童16名が参加しています。

姉妹都市の小学校との交流事業は、次年度行う予定でしたが、裾野市への訪問を希望する、デリンヤ小学校の児童が多数いらしたこともあり、その希望を叶えるために特別に交流ブースを設けました。事前の告知と、当日の取材をよろしくお願いします。

【市長】

次に、資料No.5「スタンレーレディスホンダゴルフトーナメントの開催」についてです。

今年で36回目となります、スタンレーレディスホンダゴルフトーナメントが、今年も裾野市内のゴルフ場「東名カントリークラブ」で開催されます。

市として大会を盛り上げるため、主催者のスタンレー電気株式会社様からご協力をいただき、会場内で「すそのブランド」など地場産品を使った商品の販売、PR等を行います。

市として観光PRブースの出展はこれまでもありますが、地場産品を使った市内飲食店等の出店は今大会が初めてとなります。ぜひ、事前の告知と当日の取材をよろしくお願いします。